第 13 回

越 谷 市 教 育 委 員 会 議 事 録

令和2年11月26日

定 例 会

令和2年第13回越谷市教育委員会議事録

招集年月日 令和2年11月26日
 招集の場所 越谷市役所本庁舎5階 第3委員会室
 開閉会日時 開会11月26日 午後 2時00分
 閉会11月26日 午後 2時58分

出席委員

教 育 長	吉 田 茂	教 育 長 職務代理者	野 口 久 男
委 員	堀 川 智 子	委 員	荒 木 明 子
委 員	渡 辺 律 子	委 員	山 口 文 平

欠席委員 な し

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	鈴 木 功	学校教育部長	岡 本 順
教育総務部 副参事兼 教育総務課長	渡 辺 真 浩	学校教育部 副参事兼 学校管理課長	紺 野 功
教育総務部 副参事兼 図書館長	横 山 みどり	学校教育部 副参事兼 指導課長	佐々木 清
生涯学習課長	木 村 和 明	学校教育部 副参事兼 給食課長	石 川 智 啓
スポーツ振興 課 長	八木下 太	学 務 課 長	小野寺 秀 明
生涯学習課 調整幹兼 科学技術体験 センター所長	前 田 清 彦	教育センター 所 長	齋 藤 紀 義
生涯学習課 調 整 幹	中 野 聡	学 校 管 理 課 調 整 幹	齋 藤 道 雄
南 越 谷 公 民 館 長	坂 卷 孝 二	指 導 課 調 整 幹	佐 藤 泰 弘
		給 食 課 調 整 幹 兼 第一学校給食 センター所長	中 山 佳 孝

職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課
副 課 長 市 川 今日子

	議 事	て ん 末
議	教育長報告	
	・教育長専決第15号について	
	・教育長専決第16号について	
	・教育長専決第17号について	
	・教育長専決第18号について	
	・教育長専決第19号について	
	・教育長専決第20号について	
	・教育長専決第21号について	
	・教育長専決第22号について	
事	議 案	
	・第44号議案 越谷市学校運営協議会委員の任命について	原案可決
	その他	
	・令和3年度新中学1年生を対象とした中学校選択申請状況について	
	・令和2年度学校給食費の額の変更について	
状		
況		

◎開会の宣告

吉田教育長 それでは、これより11月の定例教育委員会会議を開会いたします。

本定例会に関し、現在のところ傍聴許可願の提出はございませんが、越谷市教育委員会傍聴人規則第1条第2項の規定により、開会後に許可願が提出された場合、傍聴を許可したいと存じます。

(午後 2時00分)

◎教育長報告 「教育長専決第15号について」

吉田教育長 それでは、教育長報告「教育長専決第15号について」、生涯学習課長から説明いたします。

生涯学習課長。

木村生涯学習課長 それでは、教育長専決につきましてご報告を申し上げます。

恐れ入りますが、会議要項の1ページをお開きください。

去る10月22日の定例教育委員会会議以降、本日までの間に教育長が専決処理いたしました8件の専決事項について、ご報告をさせていただきます。こちらにつきましては、教育委員会の議決事項でございますが、緊急に処理する必要があり、かつ教育委員会会議を招集するいとまがなかったことから、越谷市教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第2項の規定に基づき、教育長が専決処理を行ったものでございます。

なお、教育長が専決処理を行った事項につきましては、同規則第2条第3項の規定に基づきまして、本定例会においてご報告をさせていただくものでございます。

それでは、専決第15号 越谷市立あだたら高原少年自然の家条例を廃止する条例の原案決定についてご報告いたします。

恐れ入りますが、会議要項の3ページをお開き願います。

専決第15号 越谷市立あだたら高原少年自然の家条例を廃止する条例の原案決定について。

越谷市立あだたら高原少年自然の家条例を廃止する条例の原案決定について、別紙のとおり専決処理する。

令和2年11月11日、越谷市教育委員会教育長。

続きまして、会議要項の5ページをお開きください。

こちらは、令和2年12月定例市議会に越谷市長が提出する議案の原案でございます。

提案理由でございますが、越谷市立あだたら高原少年自然の家を廃止するため、提案するものでございます。

また、本条例につきましては、令和3年4月1日より施行いたします。

なお、会議要項の7ページに越谷市立あだたら高原少年自然の家条例を廃止する条例を掲載しておりますので、ご参照いただきたいと存じます。

専決第15号についてのご報告は、以上でございます。

吉田教育長 ただいまの説明に対して、ご質問またはご意見等はございますか。

よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、この件については以上といたします。

◎教育長報告 「教育長専決第16号について」

◎教育長報告 「教育長専決第17号について」

◎教育長報告 「教育長専決第18号について」

◎教育長報告 「教育長専決第19号について」

◎教育長報告 「教育長専決第20号について」

◎教育長報告 「教育長専決第21号について」

吉田教育長 続きまして、「教育長専決第16号から第21号」につきましては、関連がございますので、一括してスポーツ振興課長から説明いたします。

スポーツ振興課長。

八木下スポーツ振興課長 それでは、恐れ入りますが、会議要項の1ページをお開きください。

教育長が専決処理いたしました8件のうち、2番から7番までの6件について関連がございますので、一括して報告いたします。

恐れ入りますが、会議要項の9ページをお開きください。このページの専決第16号から29ページの専決第21号につきましては、令和2年12月定例市議会に提案いたします「指定管理者の指定についての原案決定について」でございます。

専決第16号 指定管理者の指定については、「越谷コミュニティセンター」、次に13ページの専決第17号については、「越谷市日本文化伝承の館こしがや能楽堂」、次に17ページの専決第18号については、「越谷市立総合体育館」、次に21ページの専決第19号につきましては、「越谷市民球場、越谷市立越谷総合公園多目的運動場、越谷市立越谷総合公園庭球場」、次に25ページの専決第20号については、「越谷市立しらこぼと運動公園競技場、越谷市立しらこぼと運動公園第2競技場、越谷市立しらこぼと運動公園野球場、越谷市立しらこぼと運動公園庭球場、越谷市立しらこぼと運動公園ソフトボール場」、次に29ページの専決第21号については、「緑の森公園越谷市弓道場」の原案決定についてでございます。

指定管理者の指定についての原案決定について、それぞれ別紙のとおり専決処理する。

令和2年11月11日、越谷市教育委員会教育長。

戻りまして、会議要項の11ページをお開きください。こちらは、令和2年12月定例市議会に越谷市長が提出する指定管理者の指定についての議案の原案でございます。

議案内容でございますが、越谷コミュニティセンターの指定管理者を下記のとおり指定するものとする。

1、指定管理者に管理を行わせる公の施設。所在地、越谷市南越谷一丁目2876番地1、名称、越谷コミュニティセンター。

2、指定管理者に指定する団体。所在地、越谷市増林二丁目33番地、名称、公益財団法人越谷市施設管理公社、理事長、青山雅彦。

3、指定する期間。令和3年4月1日から令和6年3月31日まで。

提案理由でございますが、越谷コミュニティセンターの指定管理者を指定するに当たり、地方自治法第244条の2第6項の規定により、提案するものでございます。

ほか5議案についても、指定管理者に管理を行わせる公の施設ごとに指定管理者に指定する団体、指定する期間及び提案理由を記載してございます。

なお、越谷コミュニティセンター以外の施設の指定する期間につきましては、令和3年4月1日から令和8年3月31日まででございます。

越谷コミュニティセンターほか11施設指定管理者の指定につきましては、9月の定例教育委員会会議におきまして、経過報告をさせていただいておりますが、本議案は越谷コミュニティセンターほか11施設の指定管理者の指定期間が、令和3年3月31日をもって満了となるため、指定管理者の指定を行うに当たり、提案するものでございます。

また、今回の指定管理者の指定に当たり、公募及び随意指定の方向性について、部会において協議、検討を行った結果として、越谷コミュニティセンター、日本文化伝承の館こしがや能楽堂、総合体育館、越谷市民球場ほか2施設、しらこぼと運動公園競技場ほか4施設につきましては、それぞれの施設の設置目的、管理運営の状況、受託団体の設立経緯等を総合的に判断し、本市の出資法人である公益財団法人越谷市施設管理公社を引き続き指定管理者として選定することがふさわしいとの評価で一致し、随意指定といたしました。

その後、書面開催となりました越谷市指定管理者選定委員会において、公益財団法人越谷市施設管理公社が指定管理者候補者として選定されております。

また、緑の森公園弓道場につきましては、民間事業者のノウハウ等を活用することにより、市民サービスの向上やコスト削減、利用者の拡大などが期待できることから、公募といたしました。

なお、応募のあった団体は、公益財団法人越谷市施設管理公社の1団体でございました。令和2年10月5日に開催された越谷市公の施設に係る指定管理者選定審査会から答申をいただき、その後、書面開催となりました越谷市指定管理者選定委員会において、公益財団法人越谷市施設管理公社が指定管理者候補者として承認選定を受けたところでございます。

以上により、公益財団法人越谷市施設管理公社を12施設の指定管理者として指定するに当たり、議会の議決を経るため提案するものでございます。

教育長専決第16号から第21号についての報告につきましては、以上でございます。

吉田教育長 ただいまの教育長専決第16号から第21号の説明に対して、ご質問またはご意見等がございますか。

よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、この件については以上とします。

◎教育長報告 「教育長専決第22号について」

吉田教育長 続きまして、「教育長専決第22号について」、教育総務部長からご説明いたします。

教育総務部長。

鈴木教育総務部長 それでは、専決第22号についてご報告をさせていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の33ページをご覧ください。

専決第22号 令和2年度越谷市教育費補正予算の見積りについて。

令和2年度越谷市教育費補正予算の見積りについて、別冊のとおり専決処理する。

令和2年11月11日、越谷市教育委員会教育長。

恐れ入りますが、別冊の令和2年度越谷市教育費補正予算総括表及び予算説明書の2ページ及び3ページをお開きください。はじめに、歳入についてご説明いたします。3ページの表の一番下にごございます歳入合計欄をご覧ください。教育委員会に関連する歳入につきましては、今回4億4,527万5,000円を追加し、補正後の総額は60億3,382万1,000円となります。

歳入の内容でございますが、8ページ及び9ページ、歳入予算説明書をご覧ください。14款国庫支出金、2項国庫補助金、5目教育費国庫補助金につきましては、文化施設の感染症防止対策事業に係る国庫補助金として、教育総務費補助金17万5,000円を追加します。また、中学校トイレ改修事業に係る国庫補助金として、中学校費補助金1億4,900万円を追加します。

次に、15款県支出金、2項県補助金、6目教育費県補助金につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に係るスクール・サポート・スタッフの増員に伴う県補助金として、教育総務費補助金440万円を追加します。

次に、21款市債、1項市債、6目教育債につきましては、中学校トイレ改修事業に係る国庫補助金の活用に伴い、中学校債2億9,170万円を追加します。

次に、歳出の内容でございますが、恐れ入りますが、戻りまして5ページ下段の教育費に係る歳出合計欄をご覧ください。今回、4億23万円を追加し、補正後の総額は138億8,235万5,000円となります。

歳出の主なものについて、ご説明申し上げます。18ページ及び19ページの事業別予算説明書をご覧ください。上段の1項教育総務費、2目事務局費のうち、教育活動支援事業につきましては、県の補助金を活用し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に係るスクール・サポート・スタッフの増員に要する会計年度任用職員報酬340万円を追加するほか、支給率改定に伴い、会計年度任用職員期末手当22万円を減額します。

次に、3目学校教育指導費の外国語指導事業につきましては、事業費の確定に伴い、外国語指導委託料3,400万円を減額します。

次に、4目教育センター費のうち、学校系ネットワーク運用事業につきましては、事業費の確定に伴い、情報処理機器等借上料1,500万円を減額します。

20ページ及び21ページをご覧ください。上段の校内系ネットワーク運用事業につきましても、同様の理由により、情報処理機器等借上料700万円を減額します。

次に、2項小学校費、1目学校管理費のうち、学校活動運営費につきましては、新型コロナウイルス感染症対応に係る通信運搬費70万円を追加します。また、施設管理費につきましては、同様の理由により、光熱水費2,200万円を追加するほか、備品等整備事業につきましては、児童数及び学級数の増加に伴う備品購入費等として、合わせて830万円を追加します。

22ページ及び23ページをご覧ください。3項中学校費、1目学校管理費のうち、施設管理費につきましては、中学校に係る校舎改修工事費300万円を追加するとともに、国の補助金を活用し、中学校トイレの改修に係る工事費として、4億6,200万円を追加します。また、備品等整備事業につきましては、生徒数及び学級数の増加に伴う備品購入費等として、合わせて450万円を追加します。

次に、6項社会教育費、1目社会教育総務費の文化財保護事業につきましては、市内遺跡等試掘調査及び大道遺跡発掘調査に係る委託料として、180万円を追加します。

24ページ及び25ページをご覧ください。7項保健体育費、2目学校給食費のうち、施設管理費につきましては、給食センターに係る修繕料として650万円を追加します。

次に、3目体育費のうち、体育振興事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による事業中止に伴い、こしがやスポーツ・レクリエーションフェスティバル委託料80万円を減額します。

なお、その他の項目につきましては、人事異動等に伴う職員人件費の整理及び会計年度任用職員期末手当の支給率改定に伴う減額が主なものでございます。詳細は事業概要欄をご参照いただきまして、ご了承を賜りたいと存じます。

恐れ入りますが、戻りまして6ページをご覧ください。(3)債務負担行為の追加ですが、8件ございます。まず、通学指導委託料につきましては、来年度に向けた通学指導員の配置に係る準備行為が必要であることから、令和2年度から令和3年度までを期間として、債務負担行為を設

定するものでございます。

また、「日本文化伝承の館管理運営委託料」及び1つとびまして「越谷コミュニティセンター管理運営委託料」から「総合体育館管理運営委託料」までの5件につきましては、各施設の指定管理者の指定期間が今年度をもって満了することに伴い、来年度からの指定管理者の指定に係る準備行為が必要であることから、債務負担行為を設定するものでございます。

なお、期間につきましては、「越谷コミュニティセンター管理運営委託料」は、令和2年度から令和5年度まで、その他の5件につきましては、令和2年度から令和7年度まででございます。

さらに、表の上から3つ目の「少年自然の家解体工事費」につきましては、あだたら高原少年自然の家の解体工事に係る準備行為等が必要であることから、令和2年度から令和3年度までを期間として、債務負担行為を設定するものでございます。

続きまして、7ページをご覧ください。(4) 地方債の変更ですが、歳入でご説明いたしましたとおり、学校施設整備事業につきましては、国の補助金の活用に伴い、中学校トイレの改修事業に係る市債の限度額を、表のとおり変更するものでございます。

教育長専決第22号に係るご報告は、以上でございます。

吉田教育長 ただいまの説明に対して、ご質問またはご意見等はございますか。

荒木委員。

荒木委員 恐れ入ります。21ページの新型コロナウイルス感染症対応に伴う光熱水費の追加とありますが、具体的にどういったものでしょうか。

吉田教育長 学校管理課長。

紺野学校管理課長 こちらは新型コロナウイルス感染症対応ということで、エアコンに係る費用になります。実際に今回新型コロナウイルス感染症対応ということで、授業も窓を開けて行っております。そのため、エアコンの燃料費が通常より多くなってしまったということで、今後の予定等を見ますと、使用する部分を加味いたしますと、不足が生じるということから、今回要望をさせていただいたものでございます。

吉田教育長 よろしいですか。

ほかにございますでしょうか。

なければ、私から。6ページの債務負担行為の越谷コミュニティセンター管理委託料、令和5年度になっているのは何なのか、補足してもらえますか。

生涯学習課長。

木村生涯学習課長 コミュニティセンターにつきましては、現在の南越谷周辺のサンシティ整備計画におきまして、施設利用を令和5年度までとし、その後、建て替え等を含めた整備を令和6年度から行うとされておりますので、令和5年度までの期間とさせていただいております。

以上でございます。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、この件については以上といたします。

◎第44号議案 越谷市学校運営協議会委員の任命について

吉田教育長 続きまして、第44号議案「越谷市学校運営協議会委員の任命について」、指導課長から説明いたします。

指導課長。

佐々木指導課長 それでは、第44号議案 越谷市学校運営協議会委員の任命についてご説明いたします。

恐れ入りますが、会議要項の35ページをご覧ください。

第44号議案 越谷市学校運営協議会委員の任命について。

令和2年度越谷市学校運営協議会委員を次のとおり任命するものとする。

それでは、表に沿って選出区分、氏名、選出母体・役職等、性別の順に申し上げます。また、任期は前任者の残任期間となり、令和3年3月31日まででございます。なお、敬称については、省略させていただきます。

令和2年度南中学校学校運営協議会委員、2号委員、佐藤美子、蒲生第二小学校PTA本部役員、女、新任。

令和2年11月26日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、越谷市立南中学校の令和2年度学校運営協議会委員について、選出母体における令和2年度の役職改選等に伴い、守山恵美氏の後任委員を任命する必要があるため、提案するものでございます。

続きまして、会議要項の36ページをご覧ください。ご参考までに、今回ご提案させていただいた1名を加えた令和2年11月26日現在の令和2年度南中学校学校運営協議会委員名簿（案）を掲載させていただきましたので、ご参照いただきたいと思います。

第44号議案についての説明は、以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 これより、本案に対し質疑、討論を行います。

ご質問またはご意見等はございますか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 それでは、この役員の任命についてではないのですが、学校運営協議会につきましては、今年度で全小中学校に設置が完了するということだと思っておりますが、今年は何のぐらい学校運営協議会の会議が持てたかどうかということは私も分からないのですけ

れども、その効果について、現場からどのような声があるかということで、分かる範囲で教えていただければと思うのですけれども。

吉田教育長 指導課長。

佐々木指導課長 この後、実際には学校から報告が全部上がってくるようになりますので、その後に指導課で、それを全て検証しようと考えております。まだ現時点としては、手元に集計したものは無いのですが、様々な地域の方の意見を学校の運営の中に生かせるということで、よいというご意見を校長等から伺っております。

吉田教育長 これは設置当初から言われていたことですが、校長としては学校運営協議会に方針をかけることによって、それを承認いただくということで、地域から承認されたという意味合いもあるので、非常に心強いという声が聞かれております。ただ、コロナ禍にあって、全学区で、この運営協議会が予定どおり開かれているということではないのか。その辺について補足できますか。

指導課長。

佐々木指導課長 確かに1学期に関しましては休校期間がございましたので、1回目の会議そのものがずれ込んでいるという状況がございますので、3回予定したものが2回になってしまうことはあると理解しております。

吉田教育長 指導課調整幹。

佐藤指導課調整幹 補足させていただきます。

今のところ、第1回目の簡単な報告書ですけれども、小学校が30校中25校、中学校が15校中11校上がってきているところです。これについては、開催したけれども、まだ報告を出していないということでございますので、1回目は開催できたと推測されます。

以上でございます。

吉田教育長 よろしいですか。

ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 これより第44号議案を採決いたします。

本案は原案どおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

◎その他 「令和3年度新中学1年生を対象とした中学校選択申請状況について」

吉田教育長 続きまして、その他の報告事項に入ります。

「令和3年度新中学1年生を対象とした中学校選択申請状況について」、学務課長から説明いた

します。

学務課長。

小野寺学務課長 それでは、令和3年度新中学1年生を対象とした中学校選択申請状況についてご説明させていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の37ページをご覧ください。はじめに、9月以降の日程についてご説明します。9月中に各小学校において保護者への説明会を実施し、9月29日までに申請書を提出していただきました。10月14日に申請状況の集計結果を文書で保護者に通知するとともに、越谷市のホームページで公表しました。その後、10月21日までの選択申請変更期間を経て、令和3年度入学生の選択状況が決定した結果を、改めて11月10日に保護者に文書で通知するとともに、越谷市のホームページで公表しました。それが、会議要項38ページにあります令和2年11月1日現在の中学校選択制集計一覧でございます。

それでは、中学校選択制集計一覧を基に、令和3年度入学予定者の中学校選択状況についてご説明します。(A)は、基本学区の中学校を選択した人数でございます。(B)は、基本学区以外から当該中学校を選択した人数でございます。(C)は、(A)と(B)の合計です。例えば中央中学校の場合には、基本学区の254人に基本学区外から65人を加えた数、319人の児童が中央中を希望していることになります。

次に、一番下の計の欄をご覧ください。基本学区の中学校を選択した人数の合計が2,767人、基本学区以外の中学校を選択した人数の合計が290人。したがって、市内の中学校への就学希望者の合計が3,057人となります。

なお、基本学区以外の中学校を選択できる各中学校の定員は、各35人となっておりますので、中央中、北中、北陽中の3校が抽せん校となりました。抽せん会は11月22日、日曜日、越谷市中央市民会館1階劇場で開催され、就学する中学校が決定いたしました。

再度、会議要項37ページの下の部分をご覧ください。中学校選択制が開始されて来年度で16年目を迎えますが、令和3年度入学予定者以外に過去4年分の選択状況を載せましたので、ご覧ください。令和3年度入学予定者の選択申請書発行総数は、3,064人ございました。選択申請書発行総数とは、市内に住民登録のある来年の4月に中学校新1年に就学を予定している人数でございます。基本校の選択状況あるいは基本校以外の選択状況を見ますと、あくまでも11月1日現在の状況でございますが、約90%が基本学区の中学校を、約9%が基本学区以外の中学校を、さらに約1%が市外の中学校への就学を予定していることが分かります。この傾向は、ここ数年変わりません。

今後の日程についてご説明します。今後、1月中旬に就学通知書が発送されます。その後、転出等で辞退者が出た場合、抽せんて漏れた方の繰上げもあります。その繰上げは、2月10日で締め切れ、最終的に就学する中学校が決定することになります。市内中学校では、2月8日に入

学説明会が行われ、新入学への準備が始まります。

令和3年度新中学1年生を対象とした中学校選択申請状況についてのご報告は、以上でございます。

吉田教育長 基本学区以外の中学校選択が、富士中がゼロになっているのを補足してくれますか。
学務課長。

小野寺学務課長 中学校選択制は、毎年入学予定者数や余裕教室数の状況等を確認した上で、通学区域外からの受入れ定数を決めているところでございます。令和3年度の各中学校の入学予定者数を推計した結果、富士中学校の教室数が不足することが見込まれました。そこで、今年度につきましては、富士中学校の通学区域以外からの受入れを、定員数をゼロという形にいたしました。
以上でございます。

吉田教育長 ただいまの説明に対して、ご質問またはご意見等はございますか。
荒木委員。

荒木委員 中学校選択制に関しましては、たしかアンケートを行っていると思いますが、保護者の方々のご回答、ご意見などはいかがでしたでしょうか。

吉田教育長 学務課長。

小野寺学務課長 9割の方々が、大変この制度に満足していらっしゃるというご意見をいただいているところでございます。子どもたちも選択制を通しまして、自分のこれからの学びについてしっかり決意して進めていくということで、同じような結果が出ているところでございます。
以上でございます。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。
渡辺委員。

渡辺委員 基本学区以外を選択した生徒の主な理由を教えてください。

吉田教育長 学務課長。

小野寺学務課長 主な理由は、部活動などを目的とした理由が顕著に見られるところでございます。
以上でございます。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 続けてなのですが、その選択の理由は、特に問わないということでもよろしいですか。

吉田教育長 学務課長。

小野寺学務課長 選択自身は、原則、要綱によりまして保護者の方が選択という形になりますが、お子さんとよく相談していただいて、選択申請となると思います。そちらまでは把握してはございませんが、この制度をうまく活用していただきながら、新たな場所での学習ということで、各ご家庭のご判断にお任せしているところでございます。

吉田教育長 選択に当たっては、こういう理由で選択しますという意見を聞いてから、認めるとかということではないということによろしいですか。

学務課長。

小野寺学務課長 選択の詳細について、今教育長からございましたように、理由を伺って、認めるというものではございませんので、選択制について、この制度をご理解いただいた上でご判断いただき、ご要望がある場合には、選択制の制度を利用させていただく形になっております。

吉田教育長 アンケートで内容を聞いているというだけの話です。

野口委員。

野口教育長職務代理者 ご説明ありがとうございます。

私も基本校以外を選択する人数が290名ということで、昨年の様子を見てみると、277で全体の8.76%、若干下がってくると思ったのですけれども、今回見てみますと、また9.46%ということで、大体全体の1割ぐらいは基本校以外を選択している形で、一定程度効果といたしますか、趣旨を理解した上で活用されている方がいることを、今日改めてまた実感いたしました。

ただ、この数を今後もずっと注視していって、将来的にどうするのかという一つの材料にもなると思いました。時々選択制についてどうなのだろうという意見も耳にしないわけではないのですけれども、このような形で数を精査しながら考える必要があると思いましたがけれども。ただ、現時点では、一定程度ニーズがあるということ、改めて理解することができました。

以上でございます。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

堀川委員。

堀川委員 すみません。関連してなのですけれども、選択制を利用して学区外の中学校に入ったものの、何らかの理由でやめたいということで、本来の学区に戻ったというような生徒さんっていらっしゃいますか。

吉田教育長 学務課長。

小野寺学務課長 この選択制の制度の活用もありますが、日頃より様々な理由による、就学相談等を教育センターで行っております。この制度の中で基本的に進めておりますが、子どもたちの状況等を伺いながら、相談させていただき、対応させていただいている状況でございます。すみません。現在、手元にそういうデータは持ち合わせていないので、お答えできないのですが。

堀川委員 分かりました。すみません。

吉田教育長 資料38ページを見ると、112人、117人という学校がありますけれども、こういった人数が少なくなっている学校について、もともと基本学区に行く人数が少なければ、それはそれでしょうがないのでしょうかけれども、この辺について何か事務局の考えはありますか。

学務課長。

小野寺学務課長 年度初めの教育委員会会議でもお伝えしましたように、本市、現在の児童数は全市的に見ると微減している状況でございます。レイクタウン周辺の3校に関しましては増加しております。今ありましたように、中学校の生徒数がだんだん少なくなってまいりますと、生徒数から教職員の定数というものを割り出して学校教育を進めているわけでございます。そこがなかなか制度的に難しい状況になることが想定されることも、今教育委員会としても考えているところでございますので、そこに向けて中学校選択制の整備について、今調査研究をしているところでございます。

以上でございます。

吉田教育長 規模があまり小さくなると、少し問題を生じる可能性があると考えていいですか。

学務課長。

小野寺学務課長 規模が小さくなりますと、制度的に教職員数が難しくなる。簡単に申し上げますと、時間割が組みにくくなってしまうということがございますので、県教育委員会と相談しながら進めてまいります。それでも制度的に難しい状況があれば、制度等も考えていかななくてはならないということも検討しています。

吉田教育長 教育委員さんにお諮りしますけれども、基本学区の中学校を選択する人数が書いてあるのですが、実際にその学校に何人本来なら行くべき人数がいるのか、これは書いていないのです。したがって、何人減ったか分からない。この数を知っておかないと、選択制によって何人その学校から出ていったのかというのが分かりづらくて、規模が小さくなってきてしまう。選択制で規模がなかなか大きくならずに、小さくなってしまったのかなというところが見えにくくなっていると思いますので、これはどうでしょうか。ここに何人、本来なら行くべき人数を書いてもらうというのはどうでしょうか。

〔「それがよろしいと思います」と答える者あり〕

吉田教育長 そのようにしてもらえますか。

学校教育部長。

岡本学校教育部長 恐れ入ります。今、皆様からお話をいただきまして、中学校選択制についてのご質問が出されていることを、私どもといたしましてもしっかり受け止めさせていただきたいと思っております。今、吉田教育長からございましたとおり、この集計一覧は、あくまでも11月1日現在の集計一覧という形でございます。本日が11月26日でございますので、既に抽せん会も終了している次第でございます。

また、私どもといたしまして、本来の住民登録票に基づく基本学区に行くべき人数のほうは、当然のことながら、最初に選択申請書を発行する時点で把握している数字でございます。抽せん会が行われたその結果として、何人の児童がもとの基本学区の学校に行ったかということを示すことはもちろん可能でございますので、それらの資料につきましては、今後整えさせていた

だければと思っております。

そういたしますと、恐らく現在例えば100名を切るか切らないかぐらいという数字になっているところもございますが、これは基本学区の子どもたちが、何人ぐらい基本学区以外のところに行ったのかということによって、定着率と申しまししょうか、そのような数字になってくるかと思えます。

なお、先ほど学務課長から時間割が組みにくくなるという話でしたが、中学校の場合には教科担任制でございますので、一定の人数の教職員がおりませんと、全ての教科の教科担任が本務者、つまり本採用者としてあるいは臨時採用者として定数に入らなくなる可能性があります。そうした場合には、非常勤講師の形で、例えば美術の先生を週に3日間来てもらうとか、そのような対応をしている学校も現実でございます。そういったことから、学校の生徒数については、一定の規模が必要になってくるという捉え方もございますので、そういったことも踏まえて、先ほど申し上げましたように調査研究を進めている状況でございますので、その辺追加させていただきます。

以上でございます。

吉田教育長 フルタイムの教員が少なくなるということ言えば、それだけいわゆる部活動を持てる教員も少なくなるということですよ。そういったところが、逆に少なくなる学校のデメリットということになるわけです。

ほかにございますでしょうか。

山口委員。

山口委員 親御さんの希望でアンケートということで、転出したい、その学校に行きたい理由というのは、記載があるわけなのですけれども、逆に減ってしまっているところに関して、例えばもともとの学区に行きたくない理由があつて、それがどうしても中学校が小さくなっていくのが、住民の方が減ってそうなのであれば、それは仕方がないところがあると思うのですけれども、何かしらてこ入れみたいなものが必要な要素みたいなものが、そのアンケートから酌み取れるものなのか、それともそういうネガティブなことは、そのアンケートには書いていないのか、そこら辺を教えていただけますでしょうか。

吉田教育長 学務課長。

小野寺学務課長 実際、先ほど申し上げましたように、選択の理由に大きく部活動というものがございまして、先ほど話題にも上がりましたが、小規模の学校になりますと、部活動の数も限られており、場合によっては同じようなメンバーで複数の部活動を行っているという、ある意味掛け持ちしている状況がございます。そのような状況でございますので、そういう状況、傾向があると把握しておりますが、その他の理由に関しては、今のところ確認はしていないところでございます。

吉田教育長 選ぶ側だけの希望とか考え方だけではなくて、そういった人数が少なくなることによって、どういった不安とか、あるいは考えがあるのか、そういったところも取れるアンケートを考えていったほうがいいのではないのでしょうか。今のご意見等を踏まえて。

ほかにございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 今、山口委員さんからもてこ入れということがあったと思うのですが、確かに部活動がやりたいから、その学校に行くというのもあると思うのですが、もともと学区というのがなぜあるかというところを考えますと、部活動がやりたいからあそこへ行きたい、ここへ行きたいということだけで行いますと、やはり特定の学校の人数が少なくなってしまうとか、いろいろ問題があると思います。

それで、今いろいろ検討しているということだったのですが、そのてこ入れというところで言うと、各学校とも特色ある教育課程をつくっていると思うのです。そのこのところで、その学区の小学校に中学校から、うちの学校はこんなにいいですよみたいな、そのような説明会みたいなことは行っているのでしょうか。もし行っていないようでしたら、そのようなところをどンドンアピールして、なるべくその学区のところに行くような指導も必要だと感じました。

以上です。

吉田教育長 学務課長。

小野寺学務課長 ありがとうございます。

現在、中学校ごとに特色のある部活動は展開しているところでございます。そちらを紙面にまとめていただいたものを、私ども教育委員会学務課で取りまとめまして、冊子を作らせていただいております。そちらの冊子を対象となる保護者の方に、またはお子さんにもご覧いただきながら、各学校の特色について状況を把握していただいているところでございます。

さらに、その冊子の中に学校公開日などもお示ししまして、実際に学校をご覧いただいて、中学生の学習の様子や部活の様子を見ていただける取り組みをしているところでございます。今いただいたものを受けまして、さらに充実した資料または公開を進めていきたいと考えているところでございます。

以上でございます。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。

よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 ほかになれば、以上を踏まえて進めてください。

◎その他 「令和2年度学校給食費の額の変更について」

吉田教育長 続きまして、「令和2年度学校給食費の額の変更について」、給食課長から説明いたします。

給食課長。

石川給食課長 それでは、令和2年度学校給食費の額の変更についてご報告いたします。

恐れ入りますが、会議要項の39ページをご覧ください。はじめに、額の変更理由ですが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための小中学校の臨時休業に伴い、令和2年度の学校給食の実施回数に変更があったため、給食回数に応じて、令和2年度に限り、学校給食費の額を変更するものでございます。

次に、対象者につきましては、越谷市立の小中学校に在籍の1年生から6年生及び中学校に在籍の1年生から3年生を対象としております。

次に、調整の方法につきましては、令和2年度2月分給食費までは、従来どおり小学校は月額4,000円、中学校は月額4,850円を徴収させていただき、3月分給食費において、会議要項の40ページの別表のとおり調整した額を徴収させていただきます。

なお、中学3年生につきましては、実施回数が異なるため、別に計算するものとします。

調整金額の詳細につきましては、会議要項をご参照いただき、ご了承を賜りたいと存じます。

令和2年度学校給食費の額の変更についての報告は、以上でございます。

吉田教育長 ただいまの説明に対して、ご質問またはご意見等はございますか。

荒木委員。

荒木委員 今年度は調整などいろいろしていただき、大変だったと思います。ありがたく思っております。

年間中止回数が1から9まで載っておりますけれども、学校ごとに回数が異なるのは、理由としては主にどういったことがあるのでしょうか、教えていただければと思います。

吉田教育長 給食課長。

石川給食課長 年間中止回数についてでございますけれども、これは小学校、中学校ともに例えば遠足であるとか、林間学校であるとか、修学旅行であるとか、その他課外行事等がございます。

スポーツ大会であるとか。こういった授業と行事があるときは、給食を食べないという日が各学校、学年に応じてそれぞれ違った回数で出てきます。特にコロナ禍におきましては、なるべく授業時数を優先させるようにというお願いをしているところでございまして、それぞれ学校によって授業、そして行事等にいろいろな回数の変動がございまして、各学校、学年におきまして給食費のばらつきが出るところがございました。それを3月分につきましては、そこで調整をさせていただくということでございます。

吉田教育長 野口委員。

野口教育長職務代理者 今のお話なのですけれども、これは通常であれば、回数については学校で

調整して、同じ回数食べるようにするのですけれども、今年に関してはコロナの関係で、学校の事情を優先してこのように細かい調整をしていただいたという理解でよろしいのでしょうか。

吉田教育長 給食課長。

石川給食課長 今、委員さんおっしゃるとおりでございまして、通常の年であれば、年間190回ほど給食回数がございます。この中で小中学校給食回数を統一するために、約11回給食を休むように小中学校で統一していただきたいということを、年度途中にお願いしているわけでございます。皆さんが均等に喫食することによって、小学校は月額4,000円、中学校は4,850円といった均等な額を徴収することによって、みんなが平等である形を取らせていただいております。ところが、今回コロナ禍で6月は半分、それからずっと3月まで継続するわけでございますけれども、変更がございましたので、このような形になっているということでございます。

吉田教育長 よろしいですか。

ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 ほかになければ、以上を踏まえて進めてください。

ほかに全般的に見て何かございますか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 ほかになければ、以上とします。

最後に、次回の教育委員会会議の日時につきましては、12月24日、木曜日、午前10時から教育委員会室で開催したいと存じますが、いかがでしょうか。いいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 では、そのようにいたしますので、よろしく願いいたします。

◎閉会の宣告

吉田教育長 それでは、本定例会に提出されました議事は終了いたしました。

これもちまして閉会といたします。

(午後 2時58分)

この会議のてん末記載に相違ないことを証するため、署名する。

教 育 長

吉 田 茂

委 員

野 口 久 男

委 員

堀 川 智 子

委 員

荒 木 明 子

委 員

渡 辺 律 子

委 員

山 口 文 子

書 記

教育総務課副課長

市 川 今 日 子